

地域ぐるみで

『秋の収穫祭』を開催

ACTIVE KUMIAI

高根クラインガルテン企業組合

北杜市で貸し農園を運営している高根クラインガルテン(清水昭博理事長)で、11月1日に秋の収穫祭が開催された。

この収穫祭は農園オープン以来毎年秋に開催され、今年で12回目、地元の高根町蔵原地区の公民館まつりとの共催で6回目の開催となった。

当日は、組合員の地元住民によるそば・うどん・焼き鳥・焼きそば・餅などの模擬店、農産物・花木の直売や農機具等の販売コーナーなども設けられたほか、輪投げ・ビンゴゲーム・マスのつかみ取り大会など多彩なイベントも開かれ、好天のもと、終日たくさんの人で賑わった。

また、農園利用者による農産物品評会も開催、各自自慢の農産物が40点以上出品され、八王子市の浜崎さんのカリフラワーが最優秀賞となった。

清水理事長は「地元の蔵原地区160戸のうちに組合員が130名近くおり、この収穫祭は地元の住民と

一体となったイベントとして期待されている。

今年は小麦の栽培に組合として初めて取り組み、来年の首都圏の小中学校のほうとうづくり体験に使える小麦粉が720kg収穫できた。これからも様々な工夫をしながら、組合の運営を広げて行きたい。」と語ってくれた。

品評会に出品された農作物



広場でくつろぐ来場者